

新東京サーキット ペナルティカタログ 2024

2024年2月11日 制定

NTC
NEW TOKYO CIRCUIT


【本カタログ作成の主旨】

競技の安全と参加者の信頼を得る運営進行を最優先と考え、ドライバー・エントラント、主催者・オフィシャルすべてがスポーツマンシップを持ち、各大会へ挑む事をポリシーと考えています。各大会に関連する参加者すべてのマナー向上と安全で公平なレース運営を目指すため、本カタログを作成しました。


【目次】

- 01.フラッグ無視
- 02.白黒旗の提示
- 03.チェッカー旗およびダブルチェッカーの提示
- 04.車両違反および服装違反
- 05.ローリング隊列違反およびヒーティング行為
- 06.スタート隊列違反およびスタートディレイの赤旗起因
- 07.ポジション復帰禁止エリアでの復帰
- 08.ジャンプスタートおよびイエローコーション(ニュートラリゼーション)解除後の再スタート違反
- 09.ショートカット
- 10.ジグザグ行為、ブロック行為およびレーンチェンジ行為
- 11.カットイン(コーナリング時の走路妨害)
- 12.エッジイン(無理な突っ込み)
- 13.プッシュアウト(幅寄せ)
- 14.プッシング(後方からの接触)
- 15.危険行為
- 16.ピットエリア違反行為およびピットロード違反行為
- 17.ダミーグリッド違反行為
- 18.パドックやピットでの暖気運転、エンジンから吹かし違反行為
- 19.車載カメラに関する違反行為
- 20.その他の競技違反
- 21.ドライバーモラル、暴力行為等
- 22.走路妨害
- 23.フロントフェアリングペナルティ
- 24.ジャンプスタート(※スタンディングスタート時の場合)
- 25.トラックリミット4輪脱輪走行
- 26.その他
- 27.補足

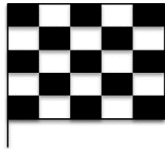
01. フラッグ無視

解説	図解	ペナルティ判断
<p>コースオフィシャルや競技委員から提示された旗に従わないことを『フラッグ無視』とします。これは旗の種類、従わなかった理由、利益を得たか否かにかかわらず適用されます。</p> <p>注)対象ドライバーは、必ずドライバーサインを出さなくてはなりません。</p> <p>一般的な審議行為、違反行為は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.黄旗区間での前車追い越しや減速せずに追い越しをかける行為。 2.黄旗区間に前方のカートとのギャップを詰める行為。 3.オレンジポール旗、黒旗、他の旗等の提示を無視し、レースを続ける行為。 4.青旗の振動に対しラインを譲らない行為。 5.白黒旗の提示を受けても、その警告行為を直さない場合。 6.白地に赤×提示ボード無視や、青赤旗の無視等の行為。 7.その他のフラッグ無視行為。 <p>※黄旗提示に気がつかず、黄旗区間で追い越し行為をしようとした場合、または追い越しをした後に同一周回においてドライバーサインを提示し、元のポジションに下がる行為の場合も当該ヒートはペナルティとなります。</p> <p>※黄旗区間で追い越し行為または危険走行をし、接触事故などの原因を発生させた場合、当該ヒート失格またはレース除外になる場合があります。</p> <p>※イエローコーション開始の合図や黄旗、その他の指示旗や提示ボードを無視した場合や減速違反も対象となります。</p> <p>※イエローからグリーン制導入の場合、グリーンフラッグ手前から追い越しや追い越しをかける行為の場合、イエローフラッグ無視と同様のペナルティ対象となります。</p>		<p>A)フラッグ無視、警告または旗の提示を無視しレースを継続した場合 :競技失格</p> <p>B)公式練習中のフラッグ無視の場合 :タイムトライアルの成績に対し、0.25～1秒加算</p> <p>C)タイムトライアル中に違反した場合 :タイムトライアルの成績に0.25～1秒加算、またはベストタイムの抹消</p> <p>D)黄旗区間での追い越し、追い越しをかける行為をした場合 :3～30秒加算、または1～10ポジションダウン、または1周減算</p> <p>E)黄旗区間での追い越しや追い越しをかける行為をして、元のポジションに下がる行為をした場合 :1ポジションダウンまたは秒加算</p>

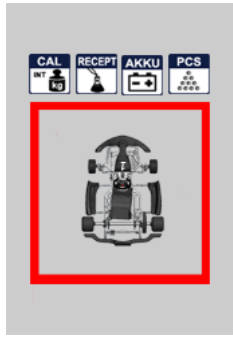
02. 白黒旗の提示

解説	図解	ペナルティ判断
<ol style="list-style-type: none"> 1. ローリング隊列を乱すような行為には積極的に白黒旗が提示されます。対象者はスタート後の白黒旗と累積になることはありませんが、スタートやり直し原因と、スタートを切る直前の周の不正な行為によってペナルティを受ける場合があります。 2. 危険な行為、事故を招くような行為には積極的に白黒旗が提示されます。当該行為が繰り返された場合、白黒旗が累積2回となり黒旗が提示され、対象ドライバーは競技長の元に出頭し、確認後に競技裁定となります。 <p>※スタートを切る前(ローリング中)の白黒旗の提示は、スタート後の白黒旗提示回数に累積になりません。</p> <p>※白黒旗は他のヒートにまたがって累積することはありません。</p> <p>※白黒旗を提示する前にペナルティボードで警告を提示する場合があります。提示する際はプッシングボード、幅寄せボード、その他ボードをゼッケンと一緒に提示します。</p>		<p>A)白黒旗1回目の提示の場合 :警告</p> <p>B)同一ヒートで白黒旗提示が累積2回の場合 :黒旗の提示、ヒート失格の場合あり ※尚、スタートを切る前の白黒旗は累積にカウントしない</p> <p>C)フォーメーションラップ中のコリドー不通過の場合 :1回目は注意、2回目は3秒加算、3回目以降はヒート失格になる場合もある</p>

03.チェッカー旗およびダブルチェッカーの提示

解説	図解	ペナルティ判断
<p>1.チェッカー旗を受けたが安全なスピードまで落とさない場合や前車を追い越した場合。(※)</p> <p>2.チェッカー旗を受けレース終了となったにもかかわらず、再度、コントロールラインを通過しチェッカー旗を2回受けた場合。</p> <p>3.チェッカー旗を受けたあと減速せずにスピニングやコースアウト等をし、レースの進行を遅らせた場合。</p> <p>※但し、前車がウイニングランや、極端に速度を落とした場合はこの限りではない。</p>		<p>A)前車追い越し、スピードを落とさない行為やダブルチェッカーの場合 : 嚴重警告、または 0.25～10 秒加算。 タイムトライアル時は、ベストタイムの抹消。</p>

04.車両違反および服装違反


解説	図解	ペナルティ判断
<p>車両規定に定められた全ての部品装着をしていなかった場合や脱落した場合、また下記のような案件等の場合を『車両違反』とします。</p> <p>※レース前、レース中、レース後、発生する時期は問いません。同様に利益が有るか無いかも問いません。</p> <p>※ヒート後の車検時の状態を判断の基準とします。</p> <p>一般的な審議行為、違反行為は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 規定重量不足や各ヒート後に車検を受けなかった場合。 車両の改造や違反加工、間違った寸法や違反部品の使用等があった場合。 規定外燃料の使用、指定外オイルの使用、クーラント使用、その他違反と判断される場合。 タイヤローテーション違反、タイヤへの加工、薬品の塗布などがあった場合。 エンジンやキャブレター、その他の車両構成部品に指定されている部品、品番指定部品、指定寸法以外の組付け状態で競技に参加した場合。 オレンジボール旗の対象になる不具合や装備品の脱落が発生し、車両を修復出来ない状態でレースを終えた場合（車検委員判断の場合もあり）。 ドライバーの安全装備の不具合や脱落がある場合。 吸気、排気装置のトラブルや脱落があってもレースを止めなかった場合。 レース終了後、検査を受ける前に不良箇所を修正した場合。 <p>※上記以外、競技の安全上問題があると判断した場合はその限りではありません。競技長の判断で競技から排除する場合があります。</p>		<p>A)規定重量不足や各ヒート後に車検を受けなかった場合 : 該当するヒートは失格</p> <p>B)車両不具合、部品脱落、安全装備違反等の場合 : 該当するヒートの成績に 0.25～60 秒加算</p> <p>C)公式練習中のタイヤローテーション、その他の違反 : タイムトライアル成績にタイム加算、または 1～10 ポジションダウン、または規則書に準じたヒートが失格</p> <p>D)吸気、排気装置のトラブルや脱落があり競技を止めた場合 : 該当するヒートや競技は DNF</p> <p>E)安全上問題があると判断した場合 : オレンジボール旗の提示をし、競技を止めない場合は黒旗にて競技裁定</p>

05.ローリング隊列違反およびヒーティング行為

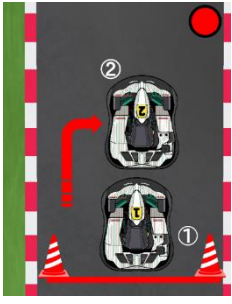
解説	図解	ペナルティ判断
<p>ローリング隊列のスピードを著しく乱す行為やローリング中の隊列を守れない走行、他車と接触しそうな激しいヒーティング行為やプッシング等によって競技進行を遅延させる行為を『ローリング隊列違反およびヒーティング行為』とします。</p> <p>※公式練習、タイムトライアル、その後の各ヒート、イエローコーション中に適用されます。</p> <p>一般的な審議行為、違反行為は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> ローリング隊列の先頭左右2台は、隊列を守りスピードを整える義務があり、SLOW DOWN ボードや KEEP ボードを確認しなくてはなりません。この義務を怠った場合ペナルティの対象となります。 ローリング 2 列の隊列を形成したあと、指定された箇所から先でヒーティング行為をした場合。 <p>※ローリング 2 列の隊列になる前のウォームアップ走行中のヒーティング行</p>		<p>A)軽度と判断しうる違反行為の場合 : 警告や白黒旗提示</p> <p>B)悪質と判断しうる違反行為の場合 : 赤旗後に最後列へポジションダウン、または成績に 0.25～10 秒加算、または 1～10 ポジションダウン</p>

為は認めますが、安全性確保が条件となり、他車の妨害や危険と判断される走行行為に対してはペナルティが課せられます。	
--	--

06. スタート遅延およびスタート遅延の赤旗起因

解説	図解	ペナルティ判断
<p>スタート合図が出る前、コリドーラインからタイヤがはみ出しながら追い抜き行為を早く始めることを『スタート遅延(コリドー違反)』とします。</p> <p>※コリドーラインの右側でも左側でも違反は同じとなります。</p> <p>また、スタート前のローリング遅延中、単なるドライバーの運転ミスや車両トラブルによって競技を継続できないような原因を発生させ、赤旗によってスタートを遅延させる行為を『スタート遅延の赤旗起因』とします。</p> <p>一般的な審議行為、違反行為は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スタート合図が出る前、2番のカートのように遅延から横に出て、コリドーラインからタイヤがはみ出しながら追い抜き行為を早く始める行為。 2. スタートが切られるタイミングを計り、ポールポジションよりいち早く2番手やその他の順位選手が早めにスタートを切る行為。 <p>※スタートライン手前の25mラインを超え加速が許可され、シグナルがブラックアウトしたと同時にコリドーラインを超え、追い抜きのためスピードアップすることは認められます。</p> <p>※後方の遅延は25mラインを越えなくてもスタート合図と同時に、コリドーラインを超え加速、追い抜きが認められます。</p> <p>※危険回避として、前車が失速(前車と前々車との間隔が1台以上開く場合)した場合、前車との衝突を避けるためコリドーラインからはみ出す行為や、車両トラブルで速度が上がらないカートを追いつく行為は認められません。</p>		<p>A) 軽度と判断しうる違反行為の場合 : 警告や白黒旗提示</p> <p>B) 2輪以上がコリドー白線を超え、はみ出した場合 : 3秒加算</p> <p>C) 4輪以上がコリドー白線を超えはみ出した場合 : 10秒加算</p> <p>D) 悪質と判断しうる違反行為の場合 : ヒート失格、または1~10ポジションダウン</p> <p>E) スタート遅延の赤旗起因行為の場合 : 対象ドライバーは再スタートの際、最後列に下がる場合がある。対象者が複数の場合、基本的にスタートはゼッケンナンバー順とします(変更の場合あり) ※赤旗起因車両はその状況によって審議され、対象台数によっては、アウト・インが入れ替わる場合もある。</p>

07. ポジション復帰禁止エリアでの復帰

解説	図解	ペナルティ判断
<p>ローリング遅延中、ポジション復帰禁止エリア(コース図に指定箇所表示あり)を示すラインを越えてから、2番のカートのようにローリング中のカートを追抜き、自分のポジション復帰した場合を『ポジション復帰禁止エリアでの復帰』とします。</p> <p>※ドライバーマナーとして元のポジションに戻る場合には、しっかり手を上げ、他車にアピールし安全に復帰することを心がけてください。強引に入り込んだり、遅延を大きく乱したり、接触事故を招いた場合、危険行為と判断されます。また空席グリッドを空けない行為はペナルティの対象とします。</p> <p>※前方のカートが車両トラブルで加速出来ないと判断した場合、その車両を抜いてもペナルティにはなりません。</p> <p>※ローリングの遅延に大きく遅れた対象ドライバーには、白地に赤×印のポジションボードとゼッケンナンバーを提示します。提示された対象ドライバーはローリングの最後尾へ付かなければなりません。ミススタートによる再スタートの場合でも、ポジションを戻すことはできません。</p>		<p>A) ポジション復帰禁止エリアでの復帰行為の場合 : 該当ヒート失格、または成績に1~10秒加算、または1~10ポジションダウン</p>

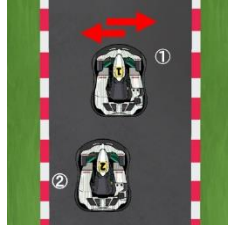
08. ジャンプスタートおよびイエローコーション(ニュートラリゼーション)解除後の再スタート違反

解説	図解	ペナルティ判断
<p>下記1～3項目を『ジャンプスタート』とします。また、イエローコーション解除後に再開を指示するグリーンフラッグはコントロールライン横のメインポストで振られますが、競技再開後の追い越しはコントロールライン通過後となり、ライン手前で追い越しをした場合、『イエローコーション(ニュートラリゼーション)解除後の再スタート違反』とします。</p> <p>一般的な審議行為、違反行為は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スタートが切られる直前に1番のカートがアクセルを大きく踏みこみ、1番のカートと2番のカートの間にかート1台分以上間隔が開くような行為や、2番のカートが前車との間に大きなギャップを空ける場合。 2. リタイヤ等によって前方のカートがいない場合の空席グリッドが確保されず、グリッド位置が前方につめられている場合。 3. スタートする前に自発的にスタートポジションを上げた場合。 <p>※1番のカートが元の位置に戻った場合やスタートが切られなかった場合はジャンプスタートとみなしませんが、警告が指示される場合があります。</p>		<p>A) 軽度と判断しうる違反行為の場合 : 警告や白黒旗提示</p> <p>B) 悪質と判断しうる違反行為の場合 : 成績に1～10秒加算、または1～10ポジションダウン</p>

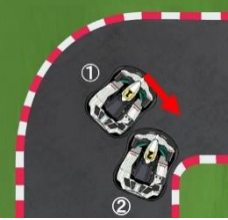
09. ショートカット

解説	図解	ペナルティ判断
<p>2番のカートのようにコースから完全に外れ、走行距離が短くなった場所から再びコースに復帰することを『ショートカット』とします。</p> <p>一般的な審議行為、違反行為は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2番のカートが順位を上げるか、その周回タイムが明らかに速かった場合。 2. 1番のカートまたは、その他のカートが2番のカートが復帰することで被害を被った場合。 3. 1番のカートまたは、その他のカートが2番のカートが復帰することで順位を下げたり、リタイヤした場合。 <p>※停止しているカートやトラブルで失速したカートとの接触を避ける場合はこの限りではありません。</p>		<p>A) 軽度と判断しうる違反行為の場合 : 警告や白黒旗提示</p> <p>B) 悪質と判断しうる違反行為の場合 : ヒート失格</p> <p>C) 他の違反行為と重複した場合 : 競技除外、または成績に0.25～10秒加算、または1～10ポジションダウン</p>


10. ジグザグ行為、ブロック行為およびレーンチェンジ行為

解説	図解	ペナルティ判断
<p>1番のカートのように直線部分でカートの幅以上に左右に蛇行すること、また後方にあるカートの位置を確認し、わざと走行ラインをずらし蛇行することを『ジグザグ行為』とし、故意に進路変更する行為は審議します。</p> <p>また、競技中のコーナー進入時や立ち上がり、直線で意図的に走行レーンを変え、後方カートの進路を妨害する走行を一般的に『レーンチェンジ』と言い、レース中の悪質な走路妨害は『ブロック行為』として審議します。</p> <p>※ジグザグ行為は、2番のカートから1番のカートが離れている場合や2番のカートが追い抜くことが出来たとしても適用します。</p> <p>※ブロック行為により、競技が成り立たないと判断された場合に審議し、競技委員によって、スポーツマンシップに反する行為か否かをジャッジします。</p> <p>※イエローコーション中も適用します。</p>		<p>A) 軽度と判断しうる違反行為の場合 : 警告や白黒旗提示</p> <p>B) 悪質と判断しうる違反行為の場合 : ヒート失格</p> <p>C) 他の違反行為と重複した場合 : 競技除外、または成績に0.25～10秒加算、または1～10ポジションダウン</p>

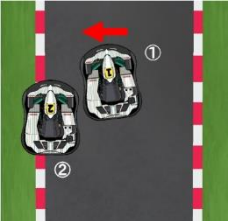
11. カットイン(コーナリング時の走路妨害)

解説	図解	ペナルティ判断
<p>1 番のカートが 2 番のkartの進路を妨害するように、コーナー内側に進路を変更することを『カットイン』とします。これは双方のkartが接触したか否かは関係ありません。</p> <p>※2 番のkartが 1 番のkartの少なくとも 1/3 以上(2 番の前輪が 1 番の後輪より前)の位置にいた場合に判断されます。</p> <p>一般的な審議行為、違反行為は以下の通りです。</p> <p>1.1 番のkartがカットインの行為をした場合。</p> <p>2.2 番のkartが順位を落とすか、またはリタイアした場合。</p> <p>3.2 番のkartがダメージを受け、同一ラップ中に順位を落とすかリタイアした場合。</p> <p>※1番のkartが2番のkartの走行ラインを残し走行する場合はカットインと判断されません。ただし、2番のkartが減速せず無理な突っ込みをした場合は審議対象となります。</p>		<p>A)軽度と判断しうる違反行為の場合 :警告や白黒旗提示</p> <p>B)悪質と判断しうる違反行為の場合 :ヒート失格</p> <p>C)他の違反行為と重複した場合 :競技除外、または成績に 0.25~10 秒加算、または 1~10 ポジションダウン</p>

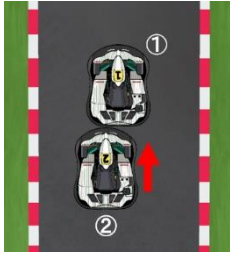
12. エッジイン(無理な突っ込み)

解説	図解	ペナルティ判断
<p>2 番のkartが走行ラインに十分なスペースがないのに、1 番のkartの内側に入って強引に抜きに行くことを『エッジイン』とします。</p> <p>また、スピードを調整することなく、車両をコントロール出来ないような速度で突っ込む場合は悪質とみなし、重いペナルティとなります。</p> <p>※2 番のkartの多くの部分が 1 番のkartのイン側にいる場合、または 2 番のkartが接触を回避するために部分的にコース外にいる場合は問題ありません。</p> <p>一般的な審議行為、違反行為は以下の通りです。</p> <p>1.スタート時の混雑からの無理やりなライン取り、強引な追抜きの場合。</p> <p>2.適正な減速をすることなく無理な突っ込みをし、他車と接触する行為。</p> <p>3.2 番のkartがエッジインの行為をした場合。</p> <p>4.2 番のkartが順位を上げた場合。</p> <p>5.1 番のkartが順位を落とすか、またはリタイアした場合。</p> <p>6.1 番のkartがダメージを受け、同一ラップ中に順位を落とすか、リタイアした場合等。</p> <p>※順位変動があれば審議にて判断します。</p>		<p>A)軽度と判断しうる違反行為の場合 :警告や白黒旗提示</p> <p>B)悪質と判断しうる違反行為の場合 :ヒート失格</p> <p>C)他の違反行為と重複した場合 :競技除外、または成績に 0.25~10 秒加算、または 1~10 ポジションダウン</p>

13. プッシュアウト(幅寄せ)

解説	図解	ペナルティ判断
<p>1 番のkartがラインを変更して 2 番のkartを完全または部分的にコース外に追いやることを『プッシュアウト(幅寄せ)』とします。これは双方のkartが接触したか否かは関係ありません。2 番のkartが 1 番のkartの少なくとも 1/3 以上(2 番の前輪が 1 番の後輪より前)の位置にいた場合に判断されます。</p> <p>一般的な審議行為、違反行為は以下の通りです。</p> <p>1.1 番のkartがプッシュアウトの行為をした場合。</p> <p>2.1 番のkartが順位を上げたとき。</p> <p>3.2 番のkartが順位を落とすか、またはリタイアした場合。</p> <p>4.2 番のkartがダメージを受け同一ラップ中に順位を落とすか、またはリタイアした場合。</p> <p>5.1 番のkartが危険行為と判断された場合。</p> <p>※1番のkartが2番のkartの走行ライン(車体1台分が基準)を残し走行する場合は、プッシュアウトと判断されません。</p>		<p>A)軽度と判断しうる違反行為の場合 :警告や白黒旗提示、またはゼッケンと幅寄せボード提示</p> <p>B)悪質と判断しうる違反行為の場合 :ヒート失格</p> <p>C)他の違反行為と重複した場合 :競技除外、または成績に 0.25~10 秒加算、または 1~10 ポジションダウン</p>

14. プッシング(後方からの接触)

解説	図解	ペナルティ判断
<p>2番のカーットのフロント部分が1番のカーットのリア部分に接触することを『プッシング』とします。また、ストレート走行中やコーナリング中に前車を押し出す行為に関しても同様とします。下記「一般的な審議行為、違反行為」を考慮した結果、2番のカーットが利益を得ない場合でも危険行為と判断された場合はペナルティの対象となります。</p> <p>一般的な審議行為、違反行為は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2番のカーットがプッシングの行為をした場合。 2. 2番のカーットが順位を上げた場合。 3. 1番のカーットが順位を落とすか、またはリタイヤした場合。 4. 1番のカーットがダメージを受け同一周回中に順位を落とすかリタイヤした場合。 5. 2番のカーットが危険行為と判断された場合。 <p>※ローリング走行時の低速走行、タイムトライアル時もすべて対象となります。</p> <p>※1番のカーットが失速などによって起因した後部からの接触はプッシングと判断しない場合があります。</p> <p>※コーナーへの進入区間、旋回区間などは、後方からの接触が危険なエリアかつ対象となりやすいエリアとなります。</p>		<p>A)軽度と判断しうる違反行為の場合 :警告や白黒旗提示、またはゼッケンとプッシングボード提示</p> <p>B)悪質と判断しうる違反行為の場合 :ヒート失格</p> <p>C)他の違反行為と重複した場合 :競技除外、または成績に0.25~10秒加算、または1~10ポジションダウン</p>

15. 危険行為

解説	図解	ペナルティ判断
<p>下記「一般的な危険行為、違反行為」を『危険行為』とします。</p> <p>一般的な危険行為、違反行為は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.減速をせず無理な進入速度で走行し多重クラッシュを招く行為。 ※順位変動問いません。 2.走行ラインを残さず危険なブロックによって相手をつぶす行為。 3.コース上に停止してしまい、その後の対処に関してコースオフィシャルの指示に従わない場合。 4.停止後にコース復帰する場合、後続車がいるにも関わらずドライバーサインも出さずに後続車通過前に再スタートした場合。 5.事故停止カートやコースアウトしたカートを放置し障害物とさせる行為。 6.コース上から競技中にコースを横断したり、他者に物を投げる行為。 7.コースを逆走し事故を招く行為。 8.その他、競技運営上『危険行為』と判断しうる行為。 		<p>A)軽度と判断しうる違反行為の場合 :警告や白黒旗提示</p> <p>B)悪質と判断しうる違反行為の場合 :ヒート失格</p> <p>C)他の違反行為と重複した場合 :競技除外、または成績に0.25~10秒加算、または1~10ポジションダウン</p>

16. ピットエリア違反行為およびピットロード違反行為

解説	図解	ペナルティ判断
<p>下記「一般的な危険行為、違反行為」を『ピットエリア、ピットロードでの違反行為』とします。</p> <p>一般的な危険行為、違反行為は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.ピットエリアに入るため、ピットロードを走行中に減速しなかった場合は、ピットロード徐行違反と判断されます。 2.ピットエリアに向かったが、エンジン停止をせずにコースに復帰した場合、ピットスルー危険行為と判断されます。 3.指定ピットエリア外で作業したり、危険物を持ち込んだり、競技委員の注意を無視した行為、サインエリア外でのドライバー合図などは、ピットエリア違反行為と判断されます。 4.ピットエリアからの再スタート時、押しがけサポート区間を過ぎても登録ピットクルーがサポートを継続した場合。 5.その他、競技運営上『ピットエリア、ピットロードでの違反行為』と判断しうる行為。 		<p>A)軽度と判断しうる違反行為の場合 :警告</p> <p>B)悪質と判断しうる違反行為の場合 :ヒート失格</p> <p>C)他の違反行為と重複した場合 :競技除外、または成績に0.25～10秒加算、または1～10ポジションダウン</p>

17. ダミーグリッド違反行為

解説	図解	ペナルティ判断
<p>下記「一般的な危険行為、違反行為」を『ダミーグリッド違反行為』とします。 ※当該事項は、ドライバー、ピットクルー、メカニック、参加選手の関係者等が行った行為でも、ドライバーに対し、ペナルティが課せられます。</p> <p>一般的な危険行為、違反行為は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.ダミーグリッドに入ったあと工具を用いた車両整備を行った場合。但し、エアゲージの使用は可能。 2.ダミーグリッドに入ったあと競技委員の指示を無視し、不正と思われるような行為をメカニックが単独で行った場合。 3.指定した時間内にダミーグリッドに入らなかった場合。 4.本コース上でスタートを待つ間、工具を用いた車両整備を行った場合。但し、日よけ行為は可能。 5.赤旗中断後、競技委員から指示が出る前に工具を用いた車両整備を行った場合やケミカル用品を使用したり、給油を行った場合。 6.ダミーグリッドからのスタート時、押しがけサポート区間を過ぎてもピットクルー、メカニック、参加選手の関係者等がサポートを継続した場合。 7.その他、競技運営上『ダミーグリッド違反行為』と判断しうる行為。 		<p>A)ダミーグリッド違反行為をした場合 :当該ヒート失格、または成績に0.25～10秒加算、または1～10ポジションダウン</p> <p>B)他の違反行為と重複した場合 :競技除外あり</p>

18. パドックやピットでの暖気運転、エンジンから吹かし違反行為

解説	図解	ペナルティ判断
<p>下記「一般的な危険行為、違反行為」を『パドックやピットでの暖気運転、エンジンから吹かし違反行為』とします。 ※当該事項は、ドライバー、ピットクルー、メカニック、参加選手の関係者等が行った行為でも、ドライバーに対し、ペナルティが課せられます。</p> <p>一般的な危険行為、違反行為は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.パドック内、ピット内や指定外の場所で暖気運転やエンジンから吹かしを行なった場合、違反と判断されます。 2.違反行為が公式練習前に発覚した場合、次ヒートにペナルティが適用されます。次ヒートとはタイムトライアルの成績が対象です。 3.その他、競技運営上『パドックやピットでの暖気運転、エンジンから吹かし違反行為』と判断しうる行為。 		<p>A)軽度と判断しうる違反行為の場合 :警告</p> <p>B)悪質と判断しうる違反行為の場合 :ヒート失格</p> <p>C)他の違反行為と重複した場合 :競技除外、または成績に0.25～10秒加算</p>

19. 車載カメラに関する違反行為

解説	図解	ペナルティ判断
<p>下記「一般的な危険行為、違反行為」を『車載カメラ違反行為』とします。</p> <p>一般的な危険行為、違反行為は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指定の申請用紙を提出せずレースに参加し、走行した場合。 2. 指定の申請用紙を提出し、指定外の個所に車載カメラを取り付けた場合。 3. レース中、取り付け不具合や接触事故等によって車載カメラが脱落した場合。 4. その他、競技運営上『車載カメラ違反行為』と判断しうる行為。 		<p>A) 車載カメラ違反行為をした場合 : ヒート失格</p> <p>B) 左記 2. および 3. の場合 : 警告、審議対象</p>

20. その他の競技違反

解説	図解	ペナルティ判断
<p>下記「一般的な危険行為、違反行為」を『その他の競技違反』とします。</p> <p>一般的な危険行為、違反行為は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公式練習に参加する意思がなかった場合。 2. 競技委員に申告せず、無断で計測装置やエンジンを変更した場合。 3. ピット・パドックで火気を扱ったり、喫煙した場合。 <p>※基本、火器の使用は禁止ですが主催者に確認し認められる暖房器具の場合は問題ありません。喫煙場所以外、特にパドックでの歩きタバコや整備中のくわえタバコが発覚した場合、その対象ドライバー、ピットクルー、メカニックに1回目は警告、2度目の行為が発覚した場合はペナルティが入ります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. ドライバーズブリーフィング(ミーティング)を不参加した場合。 5. 黄旗区間やその直前に速度を落とさず前方のカートとのギャップをつめる行為。 6. 黄旗が出ようとしているコース状態にもかかわらず、追い抜きをかける行為。 7. 競技中にダミーグリッド、ピットエリア、その他エリアにおいて許可なく給油した場合。 8. タイヤを器具や暖房機によって故意に温める行為。 9. その他、競技運営上『その他の競技違反』と判断しうる行為。 		<p>A) 公式練習に参加する意思がなかった場合 : 当該競技除外</p> <p>B) ドライバーズブリーフィング(ミーティング)を不参加した場合 : 罰金、または相応のペナルティ</p> <p>C) 軽度と判断しうる違反行為の場合 : 警告</p> <p>D) 悪質と判断しうる違反行為の場合 : 競技失格、競技施設からの退去指示、または成績に0.25~10秒加算、または1~10ポジションダウン</p> <p>E) レース中に許可なく給油した場合 : 当該ヒートの出走不可、または当該ヒート失格</p> <p>F) タイヤを故意に温めた場合 : 公式練習前⇒タイムトライアルの成績抹消、各ヒート前⇒当該ヒートの出走不可</p>

21. ドライバーモラル、暴力行為等

解説	図解	ペナルティ判断
<p>下記「一般的な危険行為、違反行為」を『ドライバーモラル、暴力行為等』とします。</p> <p>一般的な危険行為、違反行為は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ドライバーサインを出さない場合。 2. 競技役員、コース委員・コースオフィシャルからの指示を無視した場合。 3. 走行中に競技相手を挑発したり、威嚇する行為をした場合。 4. 競技会場での言葉による脅しや侮辱、中傷、威圧、暴力行為をした場合。 5. パドックでの常識外の場所取りや禁止区画への車輛の乗り入れをした場合。 6. 競技の裁定や運営に対し、理由も聞かず競技関係者に怒鳴り込む、威圧する、暴言を吐くドライバーやエントラント、メカニックの行為。 7. 競技規則を読まない、理解しないで競技委員にクレームを入れる行為。 8. 工具やケミカル用品を持って走行した場合。 9. 他チームのパドック(テント等)に許可なく立ち入る行為や盗撮、盗難に属する行為。 10. その他、競技運営上『ドライバーモラル、暴力行為等』と判断しうる行為。 		<p>A) 軽度と判断しうる違反行為の場合 : 警告</p> <p>B) 悪質と判断しうる違反行為の場合 : 競技失格、競技施設からの退去指示、または成績に0.25~10秒加算、または1~10ポジションダウン</p>

22. 走路妨害

解説	図解	ペナルティ判断
<p>下記「一般的な危険行為、違反行為」を『走路妨害』とします。</p> <p>一般的な危険行為、違反行為は以下の通りです。</p> <p>1. 公式練習やタイムトライアル中、自分の位置取りのためなど、走行ライン上でドライバーサインを出さず減速や加速行為、走行ライン交差をし、後方からの衝突を招く行為。</p> <p>2. すでにタイムアタック走行に入っているカートの走路妨害行為や接触行為、危険と判断される走行の場合。</p> <p>3. その他、競技運営上『走路妨害』と判断しうる行為。</p>		<p>A) 軽度と判断しうる違反行為の場合 : 警告</p> <p>B) タイムトライアル中の違反の場合 : 成績に 0.25~1 秒加算、またはベストタイム(1~3)成績の抹消</p>

23. フロントフェアリングペナルティ

解説	図解	ペナルティ判断
<p>指定装着のフロントフェアリングが接触やその他の理由によって正規な位置よりずれた場合、理由にかかわらず規定のタイム加算ペナルティとします。</p> <p>また、起因の内容によっては追加のタイム加算ペナルティが入ります。</p> <p>※フェアリング本体への加工、改造なども含みます(車検長判断となります)。詳細に関しては、特別規則書や公式通知を参照ください。</p>		<p>A) タイムトライアル中の違反の場合 : 成績に 0.25~1 秒加算、またはベストタイム(1~3)成績の抹消</p> <p>B) 通常違反の場合 : 成績に 5 秒加算</p> <p>C) 追加違反の場合 : 成績に 1 秒~10 秒加算</p> <p>D) 悪質と判断しうる違反行為の場合 : 当該ヒート失格</p>

24. ジャンプスタート(※スタンディングスタート時の場合)

解説	図解	ペナルティ判断
<p>スタンディングスタートの場合に、スタート合図より早くスタートすることを『ジャンプスタート(フライングスタート)』とします。</p> <p>スタート合図のシグナルがブラックアウトする前にスタートを始める行為に適用されます。審議され、レース後の成績に対しペナルティとなります。</p>		<p>A) 軽度と判断しうる違反行為の場合 : 警告、または成績に 0.25~10 秒加算、または 1~10 ポジションダウン</p>

25. トラックリミット4輪脱輪走行

解説	図解	ペナルティ判断
<p>コース両脇に引かれたホワイトラインから、4輪をはみ出して走行する行為を走路外走行とし、『トラックリミット4輪脱輪』とします。</p> <p>1. 走路外走行によりタイムを上げる行為。</p> <p>2. 走路外走行によって順位を上げる行為。</p>		<p>A) タイムトライアル中の違反の場合 : ベストタイム成績の抹消、再度繰り返す場合はサードベストタイムまで抹消</p> <p>B) 意図的にコース外を走行した場合 : 1 回目は警告(ボードと白黒旗運用)、同一日に 2 回目目のコース外走行の場合、成績に対し 5 秒加算</p>

26. その他

解説	図解	ペナルティ判断
<p>01. から 25. までのペナルティ判断は目安となり、記載されていない行為でも大会競技審査委員やスチュワード・ジャッジによる審議の判定によりペナルティとなる場合があります。また、競技役員やレース大会の格式によって表記のペナルティとは違う判定の場合もあります。</p>		<p>A) 01. ~ 25. に記載のない違反行為等があった場合 : 複数名の競技委員の審議によってペナルティ等を決定</p>

27. 補足

※レース競技状況によりペナルティ判断および判定等が遅れ、ヒート終了直後にリザルトを発表出来ない場合があります。

※暫定結果から正式結果を決定する際、ペナルティ判断および判定等によって成績が変動する場合があります。

※競技判定に関する抗議は、ヒート終了後 30 分以内までとします。抗議する場合、抗議料: 22,000 円(税込)をお支払いいただきます。